

辰野町 議会だより



～無病息災の
願いを込めて～

第48号
平成25年(2013年)
2月1日



たつのパークホテル元日の獅子舞

12月定例会

- 定例会・臨時会……………P 2
- 常任委員会活動から……………P 3～4
- 委員会視察研修……………P 5
- 議会報告会アンケート……………P 6



上島十一面観音厄除け祈願祭

12月定例会

12月定例会では、条例の制定が2件、一部改正が4件、平成24年度辰野町一般会計補正予算(第8号)など補正予算が9件、辰野町公の施設の指定管理者の指定について2件、損害賠償の額の決定及び和解についての合計18議案が原案どおり可決されました。

また議員提出議案では、地方自治法の一部改正に伴う、辰野町議会委員会条例、辰野町議会会議規則の一部改正など2議案が原案どおり可決されました。

請願・陳情は今議会に提出された3件の陳情、継続審査となっていた2件の陳情については、委員長報告のとおり、2件を採択、3件を不採択と決しました。

一般質問は10・11日の2日間にわたり、11人が行い町政の所信を問いました。

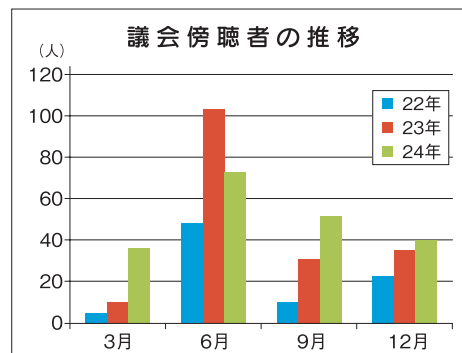
また、多くの皆さまに傍聴にお越しいただきました。 (下記に傍聴者の推移を載せてあります。)

臨時議会

11月5日と22日開催の臨時議会において、平成24年度一般会計・特別会計の補正予算の3議案を審議、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計は、町道補修工事及び辰野中学校トイレ改修工事の総額1350万円と12月16日執行の衆議院議員総選挙などにかかる費用の総額1277万7000円の追加補正でした。

特別会計は、辰野病院事業会計の看護師確保対策事業として76万円の追加補正でした。



平成24年中の請願・陳情

| 件名 | 常任委員会 | 付託月日 | 議決日 | 審査結果 |
|---|-------|-------|--------|------|
| 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書 | 総務産業 | 3月1日 | 3月16日 | 趣旨採択 |
| 最低制限価格の設定に関する陳情書 | 総務産業 | 3月1日 | 3月16日 | 趣旨採択 |
| 子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情書 | 福祉教育 | 3月1日 | 3月16日 | 採択 |
| 新教職員定数改善計画の実施と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書 | 福祉教育 | 6月5日 | 6月19日 | 採択 |
| 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書 | 福祉教育 | 6月5日 | 6月19日 | 採択 |
| 消費税増税に反対する意見書提出を求める陳情書 | 総務産業 | 6月5日 | 6月19日 | 趣旨採択 |
| 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について | 総務産業 | 9月3日 | 9月20日 | 採択 |
| TPP交渉参加表明断固反対に関する請願書 | 総務産業 | 9月3日 | 9月20日 | 採択 |
| 一般国道153号の指定区間編入を求める請願書 | 総務産業 | 9月3日 | 9月20日 | 採択 |
| オスプレイの在沖米軍普天間基地配備と長野県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める意見書の採択を求める陳情 | 総務産業 | 9月3日 | 12月19日 | 不採択 |
| 危険な米軍輸送機オスプレイの配備・訓練中止を求める意見書提出を求める陳情書 | 総務産業 | 9月3日 | 12月19日 | 不採択 |
| 辰野町における震災瓦礫処理についての陳情書 | | | | 文書配布 |
| 安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書 | 福祉教育 | 12月3日 | 12月19日 | 採択 |
| 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書 | 福祉教育 | 12月3日 | 12月19日 | 採択 |
| すべての原子力発電所再稼働の中止を求める意見書の提出を求める陳情書 | 総務産業 | 12月3日 | 12月19日 | 不採択 |

委員会審査から

総務産業常任委員会

- 条例審査
- 陳情審査



● 条例審査

■ 辰野町暴力団排除条例制定について

この条例は既に昨年の9月長野県で施行されており、全国の市町村でも多く条例化されている。暴力団の介入に絡む諸問題をその抑止力、警察からの情報開示、広報など水際で防止できる社会を構築するためのもので、時宜を得た制定であるとし、委員全員一致で可としました。

■ 辰野町公の施設の指定管理者について

この議案の対象は平成25年3月31日をもって指定期間が満了する「たつのパークホテル」、観光情報センター「パルティス」、辰野町世代間交流施設「昆虫館」の3施設です。

たつのパークホテルへは4者の応募があり、業績、財務分析、更には雇用形態など数度にわたる審査の結果、株式会社グリーンハウスに指定したいとの説明がありました。指定期間

は平成30年3月31日までの5年間。

観光情報センター「パルティス」へは3者の応募があり、施設経営の管理、運営、理念のほか収支計算書など20項目程の評価を実施し、ほたるインターネット辰野に指定された。尚今後については観光振興での有効活用を力を置いた、情報収集、発信に努めて行くべきとの意見がありました。

世代間交流施設「昆虫館」については、公募によらず、現管理者が知識、ノウハウを持つ者として適任であるとし、期間は平成27年3月31日までの2年間としたこととす。

以上3施設の指定管理について、慎重に審査し、委員全員一致で可としました



たつのパークホテル

● 陳情審査

■ すべての原子力発電所再稼働の中止を求める意見書の提出を求める陳情書提出者

上伊那医療生活協同組合
まちづくり委員会
委員長 百瀬 深

賛否両論の意見が交わされ、各々の立場で熱の入った議論となりました。

賛成の意見では、国民のいのちを何よりも最優先に考えるべき。即廃止にしても雇用は生まれる。原子力に頼らないと決めることが大事。

反対の意見では、節電は限界に達している、電力の安定供給は企業の存続に関わる大問題。又ドイツは脱原発と言いつつ、自らは外国から原発の電力を買っている矛盾など出され、採決の結果、意見書提出賛成1、反対5で不採択と決しました。この陳情審査には2名の傍聴者がありました。

継続審査

■ オスプレイの在沖米軍普天間基地配備と長野県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める意見書提出を求める陳情

■ 危険な米軍輸送機オスプレイの配備・訓練中止を求める意見書提出を求める陳情書

以上継続審査となつていた2件の陳情については、前回の経緯を踏まえ一括審査としました。

賛成意見では、伊那谷も訓練飛行のコースに入っているなど前回と状況が変わっている。

反対意見では、9月議会で「オスプレイの配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書」が発議として提出されたが、否決されていることから既に結論は出ているなどの意見が出され、採決の結果意見書提出賛成1、反対5で不採択と決しました。



委員会審査から

福祉教育常任委員会

- 条例審査
- 陳情審査



条例審査

■辰野町桜町世代間交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について

下辰野桜町に建設された、世代間交流センターの設置及び管理に関する条例の制定をしたいとするものです。

「介護予防センター」から「世代間交流センター」に名称が変更となった理由は何かとの質問に対し、国は介護予防の施設への補助から、高齢者から子どもまで障がい者も含め年齢に関係なく、世代間の交流を深め、全ての人が利用できる施設への補助に条件を換えてきているためとのことです。施設の利用方法の一例としては、地域における保育園や小学校との交流、又高齢者と保育・幼稚園児や小学生との交流を図り、地区行事などへの積極的な参加を促すことが考えられるとのこと。議員からは、子どもも入った交流もあるので、教育委員会への相談や打合せ

が、重要との提案がなされました。

◆辰野町医療費特別給付金
例について



世代間交流センター

◆辰野町公の施設（桜町世代間交流センター）の指定管理者の指定について

少子化対策及び障がい者への福祉向上を図るため、「乳幼児及び児童」の次に「等」を加え支給対象年齢を「満15才」から「満18才」まで引き上げる。療育手帳交付者の内、今まで支給対象外だった「障がい」の程度B2（軽度の知的障害）に該当する者を支給対象者に加えたいとするものです。

◆辰野町公の施設（桜町世代間交流センター）の指定管理者の指定について

議員より意見として、国が一律に「高校生まで医療費無料」なり「受給者負担500円」とするならよいが、都道府県ごとに一律でなく、ばらばらな所に問題があり、今後十分調査検討し、国に対して意見書を提出すべきとの意見がありました。特に問題なしとし、委員全員一致で可としました。

陳情審査

■安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書
■安全・安心の医療、介護実現のため夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
提出者
長野県医療労働組合
連合会執行委員長
小林 吟子

◆辰野町公の施設（桜町世代間交流センター）の指定管理者を指定するものです。議員からは、指定期間は5年であるが、平成27年3月31日としている理由は何かとの問いに対し、他の介護センターの指定末日に合わせたため、以後他の町内介護センターと合わせていくとの説明でした。また、「土地は誰のものか」との質問に対し、町の所有とし従来の介護センターと同じとのこと。特に問題なしとし、委員全員一致で可としました。

常任委員会活動

総務産業

常任委員会

10月17・18日の2日間で浜岡原発と武豊火力発電所の視察研修を実施。

○浜岡原子力発電所

浜岡原発の津波対策工事について説明を受けました。平成24年12月までに高さ12メートルの防波壁が完成予定。津波が防波壁を超えた場合の浸水防止策工事が平成25年3月完成予定。そして緊急時の発電機を高台に設置する工事が平成25年12月に完成予定とのこと。次に実際に防波壁の建設現場を視察しました。大手ゼネコンが何社も入りあらかも高架橋を建設しているかのようです。一番新しい原子炉の5号炉には見学コースが設けられており入ることができました。停止中の原子炉は压力容器のふたを開けて点検中でした。

○メガソーラーたけとよ

14万平方メートルの敷地に太陽光パネルを3万9千枚敷き詰め、一般家庭2千世帯分の発電装置を平成23年11月から運転しています。次に、隣接している武豊火力発電所に入り永崎所長より説明を受けました。1号機から4号機までであり昭和41年に運転開始された1号機は、平成14年に廃止。2号機は平成21年7月より停止中であり、すでに稼働39年が経過していて廃止寸前のところ、平成23年5月浜岡原発停止を受けて、計器類の入替え、屋外機器の腐食修理などの応急処置を施し、平成23年7月から運転再開されました。3号機も運転停止計画にあったが見送り再稼働させています。実際、所長はじめスタッフ全員が一丸となって「ブラックアウト（二斉停電）だけは避けなければならぬ」「安定した良質の電力を供給しよう」と懸命に職務を遂行している現場を拝見してきました。

今回原子力発電所、太陽光発電所、石油火力発電所を視察し、改めて電力供給の重要さを再確認し、当面の原発再稼働の問題と、長期的な脱原発の問題を解決していかなければならないと痛感しました。



メガソーラーたけとよ

福祉教育

常任委員会

11月6・7日の2日間で愛知県一宮市の「木曾川市民病院」と岐阜県各務原にある社団法人「ジョイフル各務原」の視察研修を実施。

○木曾川市民病院

当病院は6診療科で病床数は、一般90床、後期リハビリテーション病床48床を運営し、内容的にも辰野病院に類似している。

町村合併により医療圏の拡大はあったものの、地方公営企業法の全部適用などが功をそうし、経営改善が飛躍的に前進した内容を報告します。

経営改善と取り組み

一、収入増加対策として、地域医療の連携強化・不良債権の回収強化。経費節減対策として、薬品・物品などの他病院との共同購入。経営合理化の取り組みとして、電子カルテ・オーダーリングシステムを近日導入予定、民間他への委託の拡大など経営改善に努めた。

二、公営企業法の全部適用により管理者の責任において病院事業の方向性の即時決断化と早期対応が図れている。改革プランの推進状況は順調との説明。

以上地域医療連携や公営企業法全適及び改革プランの推進による経営改善プランなどが功をそうし、病床利用率90・8%、収益で23年度1.3億円（3.3%）アップとの説明でした。辰野病院としても参考とすべき点が多く見られました。

○ジョイフル各務原

この施設は開設15年をむかえ、特別養護老人ホーム定員80人、ショートステイホーム20人、デイサービスセンター35人、同認知12人、グループホーム9人、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等6つの事業を行っており、稼働率100%との説明でした。

「利用者様と共に笑い、共に泣き、共に生きる」をモットーに全国展開中との説明でした。

あらゆる施設が完備しており、入居者が明るく元気で生活している姿が印象的でありました。



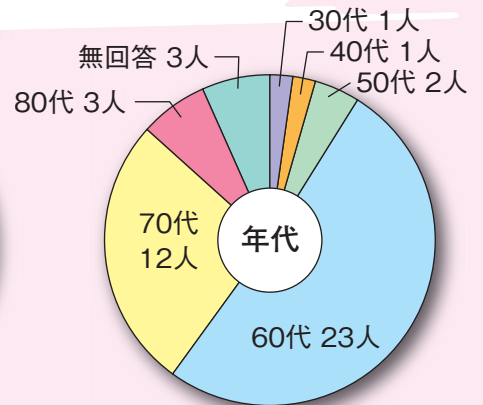
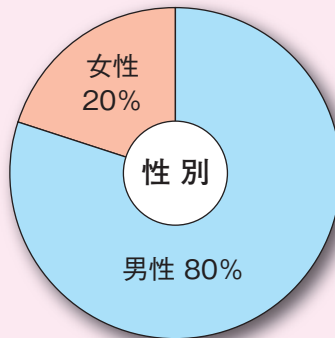
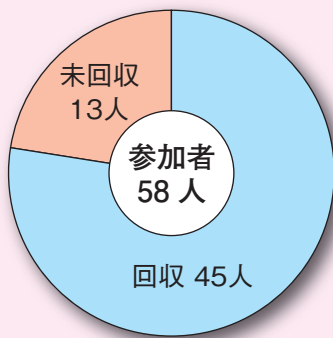
ジョイフル各務原

第3回 議会報告会 アンケート結果

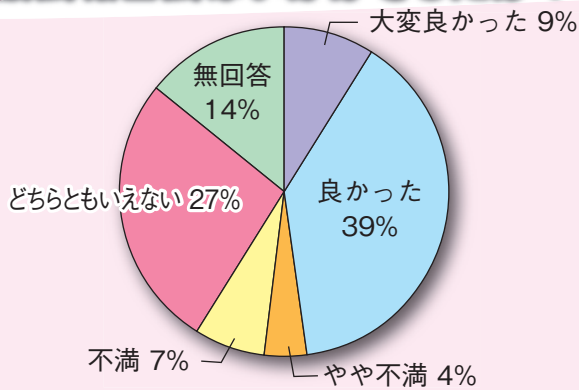


平成24年11月10日に開催した、第3回議会報告会に配布したアンケートの中から一部を紹介いたします。

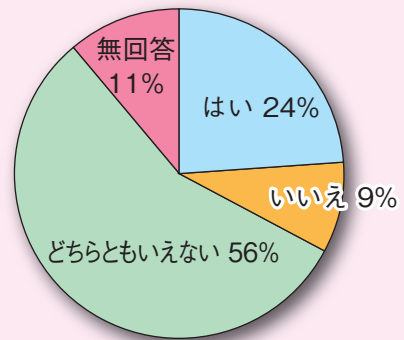
参加者について



議会報告会はいかがでしたか？



議会を身近なものと感じていますか？



意見・要望

議会報告会について

- ◎この報告会はその存在を示すうえで間違いなく良いことです。集まってくるのは各種団体の長だけでしょうか。一般町民も参加してくれるような工夫は、どうなさっていますか。
- ◎参加人数が多くなった場合の進め方ではありますが、①全体会議と②少数会議（10人位）で進めた方が意見が出るのではないかと。そこでまた問題を③全体会議に出す。
- ◎テーマごとに参加、意見したい町民が異なるので、そのテーマごとに報告会や意見交換会を日時を分けて行い、その参加する人々を募ればもっと良くなるのではないのでしょうか。
- ◎どれほど集まるかは分かりませんが、会場を増やすことはあっても良いと思います。
- ◎総花的、状況説明のみ、議員としての意思が見えない。

その他

- ◎一般質問、議員の質問に対し町理事者の答弁、聞いていて物足りない。議員と理事者がもっと議論をかわしてほしい。
- ◎議員提案の内容に不満、足元の諸問題に係るべき。議員提案の質こそ議会、議員の評価の物差しと思う。

平成25年も2回の報告会を予定しています。皆様からいただいた声を次回に活かしてまいりますので、是非大勢の皆さまのご来場をお待ち申し上げます。